

第3回長瀬町旧長瀬第二小学校

活用検討委員会協議内容

A 班

| イチオシ案 | | |
|--|---|---|
| 展望 | 可能性 | 理由 |
| 地域＋交流 | あまり手を入れない 地域の場所に外の人が入ってくる 常時文化祭 | マルシェ、カフェ スモールスタートできる |
| 【補足説明】 ・観光メインではなく「地元の人が集まる→地元交流が生まれる→外の人がある場所を見つけて訪れる→地元と外の人との交流が生まれる」 | 【補足説明】 ・校舎等を使う ・大規模改修等はせずに、小規模な整備でスタートする | 【補足説明】 ・地元の方がしっかり案内する必要はない（「〇〇に行ってみれば？」程度） ・初めから大掛かりに取り組むのではなく、少しずつ始める（期間限定オープン等）。 |

| | WS での意見内容 |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行施設をそのまま活用した、長瀬観光活性&地域活動活性を行いたい。 ・ 常時文化祭が開かれているようなイメージ。 ・ 期間を指定して試験的に旧長瀬第二小学校を活用してデータ収集を行う必要がある（小さく色々と試行）。 ・ 地域雇用も生み出せる、地域密着の企業がよい。 ・ 少子化に伴って廃校が実施されたため、子供メインの施策は需要がない。 ・ <u>教室</u>をアクセサリなどの工房・販売、<u>体育館</u>や<u>プール</u>をアクティビティのスタート拠点等で活用したい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に住んでいる方のためになるかが第一優先（そのうえで観光）。 ・ 旧長瀬第二小学校の学区等地元の方々が集まれるようなコミュニティセンターにしたい。 ・ 行政側が管理、運営するのではなく地域の方々が自主的に活動するセンターというイメージ。 →観光客に対して地元の方々が自主的に案内する。 ・ 道の駅に似たようなイメージだが、最初はいくまでも地域の方々を対象とした施設として活用し、観光客は＋αの存在として考える（密度間の高い関係人口を築く）。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光拠点として活用したい。 ・ 道の駅に準じた利用。 ・ 大規模なリノベーションをするのではなく、今あるスペースや建物を活用する。 ・ 旧長瀬第二小学校を残しつつ活用したい。 ・ <u>校舎</u>・<u>体育館</u>を活用して、史跡資料の展示、特産品の販売、カフェ等の休憩スペースとする。 ・ 周辺の史跡めぐりの拠点、長瀬、秩父への観光客がパーク＆ライド。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ この場所を活用して「思い出を残しつつ、新しい人の集まる場」にしたい。 →観光客にも地元の人にも開かれた「にぎわいの場」を作りたい。 ・ <u>教室</u>や<u>家庭科室</u>を地域の子どもや高齢者の居場所、ワークショップ会場、秩父地域の食材を使った料理体験等が出来る場所として活用したい。 ・ <u>校庭</u>でマルシェやイベントを開催したい。 ・ <u>体育館</u>を上映会場として活用したい。 |

B 班

| イチオシ案 | | |
|---|--|--|
| 展望 | 可能性⇒「誰が？」に変更 | 理由 |
| <u>まちの駅</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域住民</u> ・ <u>町全体</u> ・ <u>若い人</u> ・ <u>外部の人と一緒に</u> | <u>地域の活性化のため</u> |
| 【補足説明】 ・ レーダーチャートから、「地域活動拠点（内向き）」が最も関心が高く、順に「こども」、「高齢者」、「観光（外向き）」となり、「企業誘致」の関心は低い。 ・ 地元の農産物直売や参加型の飲食店、多目的設備（公民館機能）、体験型学習施設、スポーツの交流の場、歴史資料館など複合的な機能が必要との意見が多く、「まちの駅」とした。 ＊レーダーチャートの関心度を踏まえた施設展開となった。 | 【補足説明】 ・ 「何ができるか」よりも「誰が」が大事ではないかという話になったため変更した。 ・ 地域住民のみならず、若い人を含めた町全体、さらに外部の人も入ってきて交流人口を増やすことで活性化させたい。 | 【補足説明】 ・ 「地域活動拠点」が最も関心が高かったこともあり、一番重要なのは「地域の活性化」が必要。 |

| | WS での意見内容 |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅、体験型施設として活用したい。 ・ 地元の農家や生産者が農産物を販売する場所が欲しい。 ・ 長瀬町全体では観光客は多いが、樋口地区の観光が弱い。 ・ 体験型の学習施設（陶芸やそば打ちなど）があれば、地域内外の人にも集まるのでは。 ・ サービスを提供する側として参加できる飲食店があると良い。 ・ 校舎棟1階を飲食店や農作物直売所、2階を陶芸等の体験学習施設として活用したい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧長瀬第二小学校の校庭や体育館を活用して、地域の子どもたちのスポーツの向上・交流の場にしたい。 ・ 道の駅のような、野菜や花、農産物の販売・購入および食事ができるような施設があると良い。 ・ 合宿所等の整備が出来れば、長期休みに長瀬地域のみならず他の地域の方々も利用できる。 ・ 若い人に来て欲しい。 ・ 校庭や体育館をスポーツ交流や宿泊施設等で活用できると良い。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加型、雇用にもつながる、地域交流ができる施設が良い。 ・ 長瀬は公民館が少ないので、公民館機能を含めた多目的設備が欲しい。 ・ 長瀬は歴史のある所なので、歴史資料館も併設して欲しい。 ・ 現在、避難場所となっているので、その機能は無くさないで欲しい。 ・ 子どもが少ないので遊べる場所が欲しい（若い世代に入ってきて欲しい）。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい公共の実現が必要だと思う。 →行政だけではなく、住民が公共サービスを担う必要がある。 ・ 秩父鉄道との連携により高いポテンシャルを活用するべき。 ・ 地域内だけではなく、地域外の力も借りる必要がある。 |

C 班

| イチオシ案 | | |
|---|--------------------------------|------------------------------|
| 展望 | 可能性 | 理由 |
| <u>みんなが集まれる場所づくり</u> <u>(観光・地域の人も)</u> | <u>地域の文化を伝えたい</u> | 記載なし |
| 【補足説明】 ・企業や観光を使って地域の活動拠点として旧長瀬第二小学校を活用していきたい ・旧長瀬第二小学校の立地を生かして、秩父地域の総合窓口として使いたい (道の駅や自習室、短期貸しのテナント施設、公民館 等も組み込んだ複合施設) | 【補足説明】 ・デジタルマップなどの活用 | 【補足説明】 ・長瀬には図書館がない |

| | WS での意見内容 |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館を移設し、公民館事業を中心とした地域活動拠点として使いたい。 ・今は秩父地域の玄関口ではない。 ・樋口地区には公共の施設がない。 ・緊急時以外の食事の提供や宿泊を伴う施設としての活用は好ましくない。 ・観光拠点としての活用は難しいため、地域活動拠点として利用したい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・公園を整備して欲しい。 ・樋口地区には広場や公園がないため、皆野町や寄居町の運動公園まで移動している。 ・自由に立ち入れる広場として残したい。 ・観光で人が増えても仕方ない。 ・地域活動拠点については地域の集会場で十分。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・長瀬町は観光で人気なため、観光拠点として活用したい。 ・企業誘致もしつつ、地域の活動拠点として活用したい。 ・様々な機能を持つ施設として活用したい。 →短期貸しのテナントや総合的な窓口、秩父地域の農産物やお土産を販売・購入できるような場所として活用したい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・長瀬町の財政支出及び町民負担が可能であれば「複合交流拠点図書館」や「世界鉱物資源博物館」として活用したい。 ・長瀬町の財政支出及び町民負担が困難であれば、校舎を残さずに「長瀬町ビジターセンター（パーク＆ライド駐車場）」として活用したい。 →体育館を災害避難所とビジター施設として兼用したい。 ・高齢者よりも子どもにお金をかけたほうが良い。 ・企業誘致場所を旧長瀬第二小学校に限定する必要はない。 ・子どもと高齢者が楽しめる複合的な施設が良い。 |

欠席者

| | 事前課題の内容 |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点として活用したい。 ・地域の子どもや高齢者、観光客が交流する賑わいの場を作り出したい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・樋口地区および周辺地区の活性化を図りたい。 →旧長瀬第二小学校の校舎・校庭を活用すれば、樋口地区と周辺地区を長瀬観光の第二の拠点とすることができると考える。 ・<u>教室</u>を民俗資料などの常設展示室として活用したい。 ・<u>図書室</u>を町の歴史や古文書が誰でも閲覧できる図書館機能をもつ場所として活用したい。 ・<u>音楽室</u>をコーラスや音楽会ができる機能をもつ場所として活用したい。 ・<u>体育館</u>を多目的ホール機能をもつ場所として活用したい。 ・<u>校庭</u>を滝ノ上、小坂、岩田の各地区に訪れる観光客や間瀬峠などの登山者の駐車場として活用したい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・県や国の関与による防災拠点施設として活用したい。 ・文化・交流拠点としての活用要望が検討委員会で意見として多く出ているが、長期的な視点でみると、町や住民に大きな負担（人件費等）が生じる恐れがある。 →防災拠点として活用することで「地域の安全確保」と「住民の集いや文化活動の場」の2つのニーズに答えることが出来る。 ・地域の財政負担を最小化して防災機能を高めるために、日本一安全な町であることを地域住民に知って頂きたい。 ・観光施設や宿泊拠点としての活用に関して、数年後には運営コストが地元財政を圧迫する事例が各地で見られる。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設（コミュニティ・イベントスペースやワーケーション施設、短期滞在型の施設）として活用したい。 →滞在者が観光や住民との交流を通じて長瀬町の魅力を感じ、再びワーケーションしたいと思えるような施設。 ・地元住民の理解が得られるような優良企業の誘致であれば良い。 ・長期的に継続して利活用出来る施設を考えることが肝要。 ・他市町からの協力を得ながら、長瀬町の施設を利活用できる施設を考えるのが良い。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・長瀬町が日本でも有名な観光地で「日本一安全な町」を宣言していることを踏まえ、多機能複合拠点にしたいと考える。 ・安心安全ブランドを核に、観光、産業、暮らしを結び付けた総合交流の場所にできると思う。 ・施設の運営には町の高齢者を含む地元住民を雇用し、すべての人が参加できる集いのコミュニティプレイスを作る。 ・町役場、商工会、観光協会、コンサル会社等と町民が関心を持ち、近隣地域と連携した、町を守るための持続可能な拠点にできると思う。 ・道の駅として、観光案内所や飲食の場、農産物加工・販売を行う。 ・若者に町の住みやすさや安全性を発信してもらい、移住者の増加につなげたい。 ・<u>体育館</u>や<u>校庭</u>、<u>プール</u>を体験型アクティビティやイベントとして活用したい。 ・<u>校舎の教室</u>を企業のサテライトオフィス、ワーケーション、レンタルオフィス、レンタルショップ等として活用したい。 |